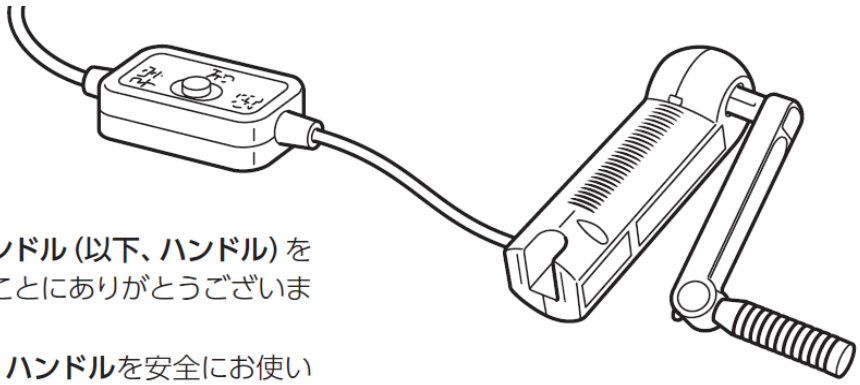
PARAMOUNT BED

取扱説明書

保証書付

スマートハンドル

KQ-P70S
(QP70S)



まえがき

このたびは、**スマートハンドル (以下、ハンドル)** をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」には、**ハンドル**を安全にお使いいただくための注意事項と使いかたなどを記載しています。

- **ハンドルをご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」およびベッドの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。**
- **この「取扱説明書」は、ハンドルと一緒に収納ケースに入れて保管してください。**
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合せください。

もくじ

1.各部の名称と部品の確認 …… 2
2.安全に使用するための注意事項 … 3～5
3.ハンドルの使用準備 …… 6～7
4.ハンドル操作のしかた …… 8～9
5.ハンドルの片付けかた …… 10～11
6.日常のお手入れ・長期保管について … 12
7.故障かな?と思ったら …… 13
8.仕様 …… 13
9.収納ケースの取付けかた・取外しかた …… 14～15

使用目的について

このハンドルは、災害などによる停電時・ベッドの故障 (※1) などの緊急時に、楽匠Zシリーズベッド (KQ-7＊＊＊)・KQ-60000シリーズ (KQ-6＊＊＊＊) (※2)・KA-7900シリーズ (KA-79＊＊) の背ボトム・膝ボトムのあげ・さげ、高さ (頭側さげ) 操作を行うことを目的に作られています。

※1) 故障内容によっては、ハンドルによる操作ができない場合があります。
※2) KQ-60000シリーズは、高さ (頭側さげ) 操作によってベッド全体の高さがさがります。

適合品について

このハンドルに適合するベッドは、楽匠Zシリーズベッド [KQ-7＊　＊　＊]・KQ-60000シリーズ [KQ-6＊＊＊＊]・KA-7900シリーズ [KA-79＊＊]です。

7F09722500A1

パラマウントベッド株式会社

3 ハンドルの使用準備

⚠注意（ちゅうい）

ハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。ハンドルとベッドの手元スイッチを同時に操作すると、ベッドが故障するおそれがあります。

1.ハンドルの収納位置について

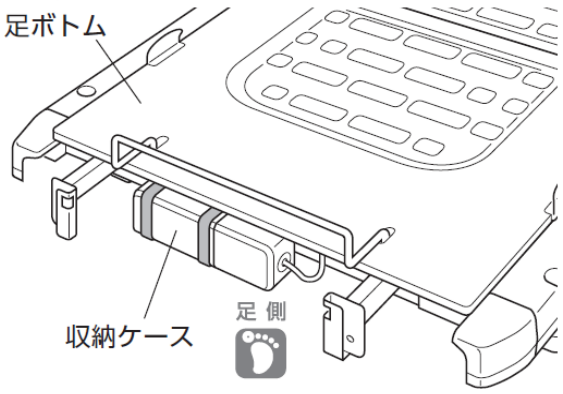
〈楽匠Zシリーズ・KQ-60000シリーズ〉

※KA-7900シリーズは、収納ケースをベッドのフレームに取付けることはできません。

ハンドルは収納ケースに入っています。

収納ケースは、ベッド足側の足ボトムの下に取付けられています。

※イラストは楽匠Zシリーズのフットボードを外した状態です。



2.ハンドルの取出しかた

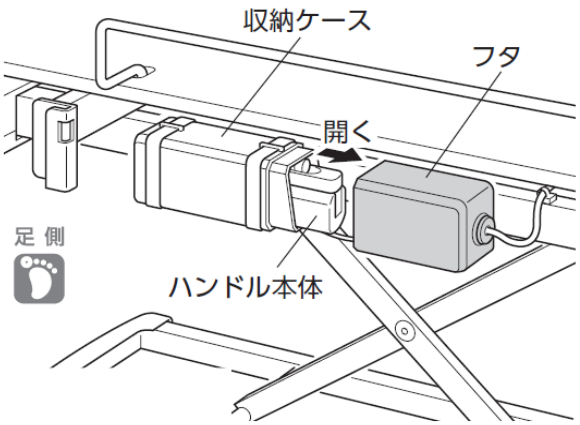
注記

手元が暗い場合は、明かり（懐中電灯など）を使用して作業環境を整えてください。

1 ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 ベッドの取扱説明書を参照して、ベッドのフットボードを取外してください。

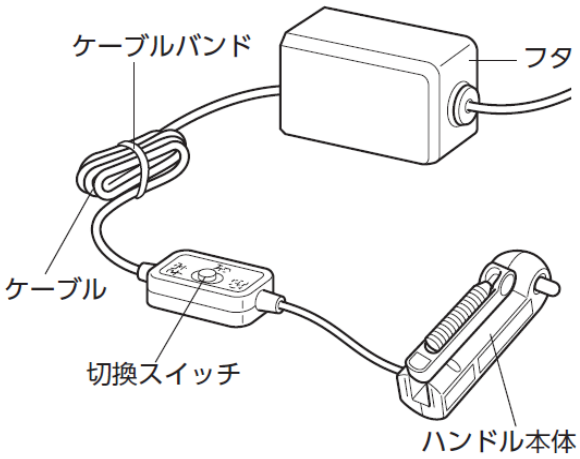
3 収納ケースのフタを矢印の方向に開け、収納ケースからハンドル本体、フタからケーブルと切換スイッチを取出してください。



⚠注意（ちゅうい）

収納ケースのフタを開けるときは、ゆっくりと開けてください。勢いよく開けると、収納ケースの中のハンドルが落下してゆかを傷つけたり、ハンドルが破損・変形したりするおそれがあります。

4 ハンドルのケーブルを束ねているケーブルバンドを外してください。



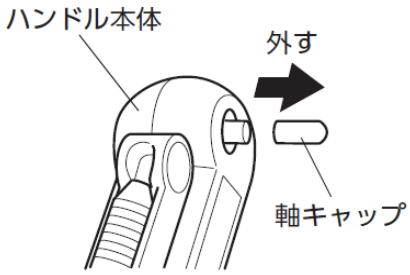
3.ハンドルグリップの組立てかた

⚠注意（ちゅうい）

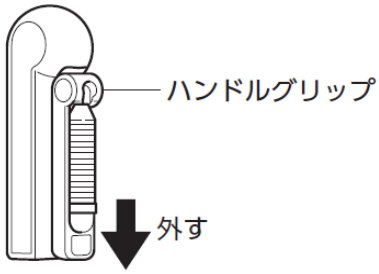
ハンドルグリップを組立てるときは、ハンドル本体とハンドルグリップの間に手や指をはさまないように注意してください。はさまれてけがをするおそれがあります。

1 ハンドル本体の軸キャップを取外してください。

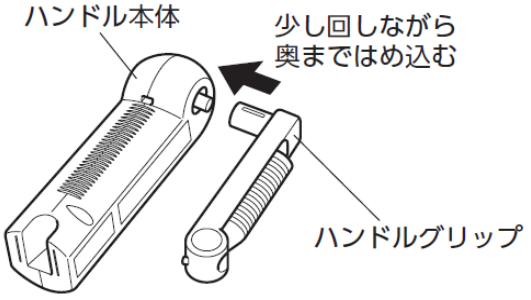
取外した軸キャップは、紛失しないように保管してください。



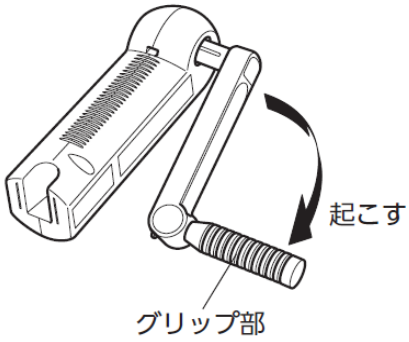
2 ハンドルグリップをハンドルグリップ収納部から矢印方向に取外してください。



3 ハンドルグリップを少し回しながら、ハンドル本体の軸に「カチッ」と音がするまで奥に差込んでください。



4 矢印方向にグリップ部を起こしてください。



4 ハンドル操作のしかた

■ハンドル操作で、背ボトム・膝ボトムのあげ・さげ、高さ（頭側さげ）（※）操作が行えます。
※）KQ-60000シリーズは、高さ（頭側さげ）操作によってベッド全体の高さがさがります。

⚠警告

- ハンドル操作時は、介護する方の監視下で行い、ベッドを使用する方を背ボトムと膝ボトムの間で圧迫しないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- ベッドの可動部でハンドルのケーブルをはさまないようにしてください。ケーブルが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- ベッドの高さ（頭側さげ）（※）操作を行うときは、ベッドの下に足を入れないでください。はさまれて、けがをするおそれがあります。ハンドルで高さ（頭側さげ）操作を行う場合、ベッドの手元スイッチでベッドの高さをさげたときに鳴る警告音がなりませんので、ご注意ください。
※）KQ-60000シリーズは、高さ（頭側さげ）操作によってベッド全体の高さがさがります。

〈楽匠Zシリーズ・KA-7900シリーズに関して〉

- ベッドの足先がさがっている状態で膝ボトムのさげ操作をする場合は、高さ（頭側さげ）操作でベッドを水平な状態にしてから、膝ボトムのあげ・さげ操作を行ってください。ベッドを使用する方がベッドから滑り落ちて、けがをするおそれがあります。
- 切換スイッチを「高さ 頭側さげ」位置にスライドさせた状態で、ハンドルグリップを「時計回り」に回さないでください。ベッドを使用する方がベッドから滑り落ちて、けがをするおそれがあります。

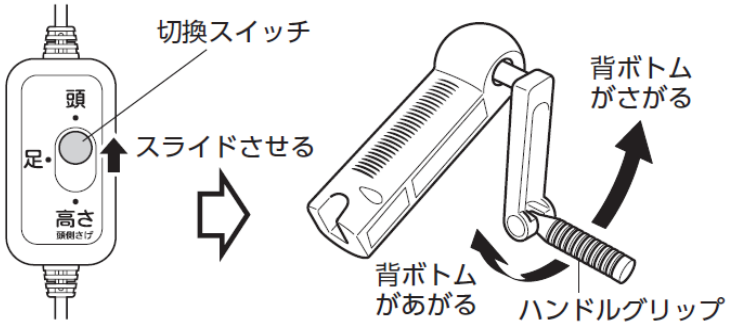
⚠注意

- ハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。ハンドルとベッドの手元スイッチを同時に操作すると、ベッドが故障するおそれがあります。
- 各部位の動作が止まったらハンドル操作はしないでください。各部位の動作が止まっている状態でハンドルグリップを回し続けると、アクチュエーターおよびベッドが破損・故障するおそれがあります。
- ハンドル操作でベッドを動作させるときは、各部位の動作範囲内で動作させてください。動作範囲を超えて動作させると、アクチュエーターおよびベッドが破損・変形するおそれがあります。
※動作範囲は、ベッドの取扱説明書を参照してください。

1.背ボトムのあげ・さげ操作のしかた

1 切換スイッチを「頭」位置にスライドさせてください。

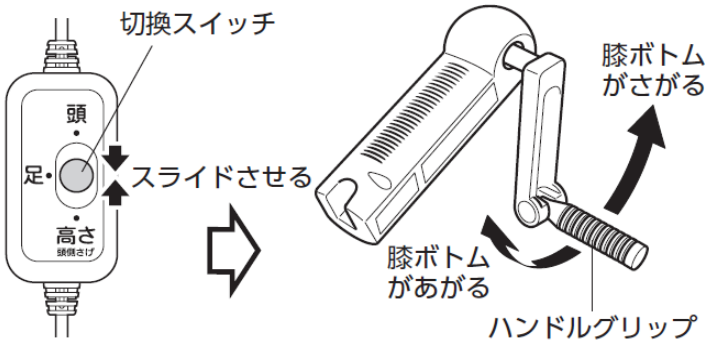
2 ハンドルグリップを「時計回り」に回すと背ボトムがあがり、「反時計回り」に回すとさがります。



2.膝ボトムのあげ・さげ操作のしかた 楽匠Zシリーズ: 背・ひざ・高 ・ KQ-60000シリーズ: 3モーター タイプ・KA-7900シリーズのみ

1 切換スイッチを「足」位置にスライドさせてください。

2 ハンドルグリップを「時計回り」に回すと膝ボトムがあがり、「反時計回り」に回すとさがります。



3.高さ(頭側さげ)操作のしかた 楽匠Zシリーズ: 背・ひざ・高 背・高 タイプ・ KQ-60000シリーズ・KA-7900シリーズのみ

※KQ-60000シリーズはベッド全体の高さが変わります。

1 切換スイッチを「高さ 頭側さげ」位置にスライドさせてください。

2 ハンドルグリップを「反時計回り」に回すとベッドの高さ(頭側さげ)がさがります。

注記

- ハンドルグリップの回転方向については、ハンドル本体に貼付の「ラベルA」にも記載されています。
- ハンドルグリップを回転させる速度が遅いと、ベッドが動作しない場合があります。回転速度の目安は、1秒間に2回転(※1)です。

  ※1) ベッドの動き出しは最も電力を消費するため、1秒間に2回転の回転速度ではベッドが動かない場合があります。ベッドが動かない場合は、動き出しのみ回転速度を速くしてください。
- ベッド動作には空走(※2)があり、ハンドルグリップを回してもすぐにベッドが動作しない場合があります。

  ※2) ベッドは動作せず、アクチュエーターのみが動いている状態です。しばらくハンドルグリップを回し続けてください。
- あげ動作をする場合、使用者体重は80kg(マットレスやオプションなどの付帯物を含まず)以下を目安としてください。80kgを超えるとハンドルグリップが重くなり、操作が困難となります。
- 使用後はハンドルを収納ケースに入れて保管してください。(10〜11ページの「5 ハンドルの片付けかた」参照)

5 ハンドルの片付けかた

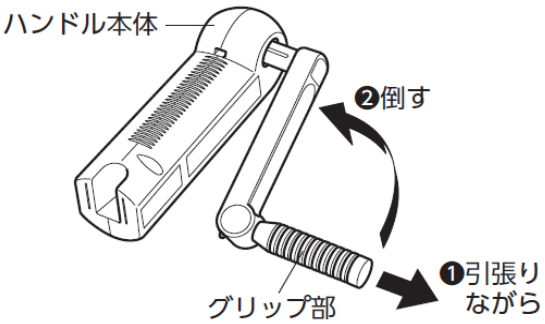
ベッドの電源プラグが抜けていることを確認してください。

1.ハンドルグリップの収納

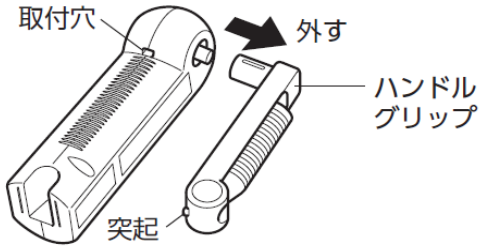
⚠注意（ちゅうい）

- **ハンドルグリップを収納するときは、ハンドル本体とハンドルグリップの間に手や指をはさまないように注意してください。はさまれてけがをするおそれがあります。**
- **ハンドルグリップは、正しく収納してください。正しく収納されていないとハンドルグリップが落下してゆかを傷つけたり、ハンドルが破損・変形したりするおそれがあります。**

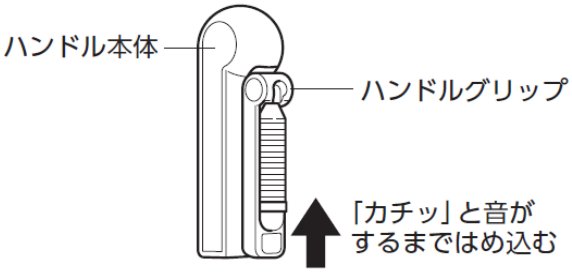
1 グリップ部を矢印❶の方向に引張りながら、矢印❷の方向に倒してください。



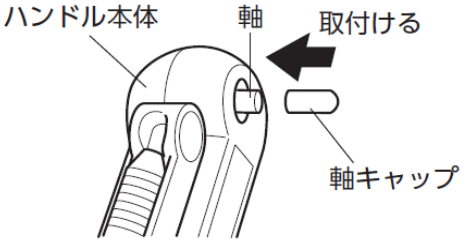
2 ハンドルグリップを矢印方向に取外してください。



3 ハンドルグリップの突起とハンドル本体の取付穴が合うように、「カチッ」と音がするまで矢印方向にはめ込んでください。



4 ハンドル本体の軸に軸キャップを取付けてください。

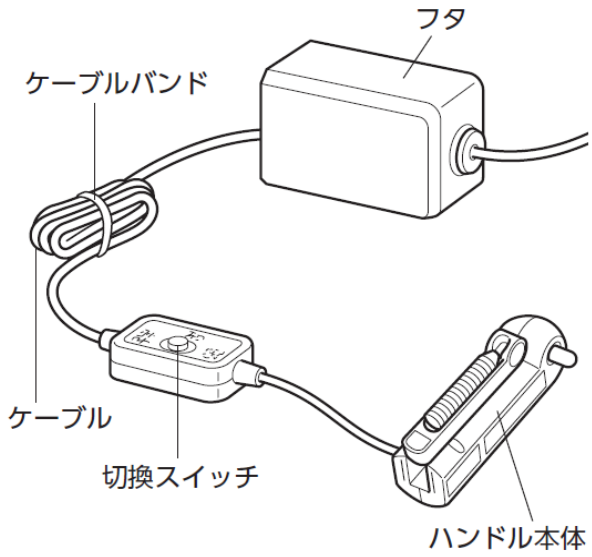


2.ハンドルの収納

⚠注意（ちゅうい）

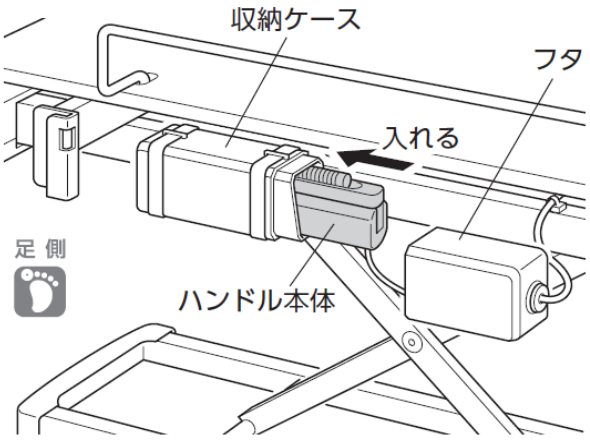
ハンドル収納後は、収納ケースのフタが確実に閉まっていることを確認してください。
ハンドルが落下してゆかを傷つけたり、ハンドルが破損・変形したりするおそれがあります。

1 ハンドルのケーブルを、図のようにケーブルバンドで束ねてください。



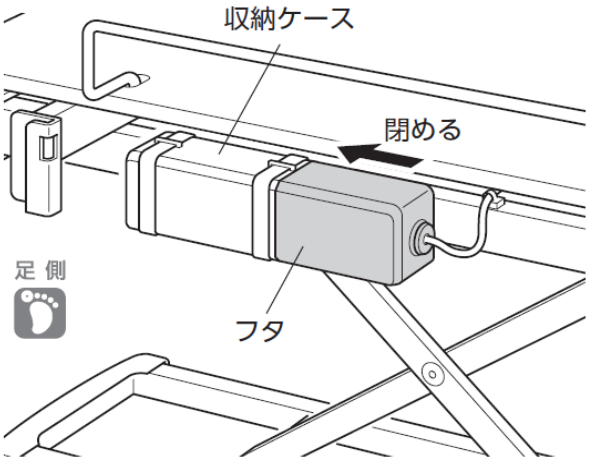
2 ハンドル本体を収納ケースに入れ、フタに束ねたケーブルと切換スイッチを入れてください。

※イラストは楽匠Zシリーズです。



3 収納ケースのフタを矢印の方向に閉めてください。

ハンドルの保管方法は、12ページの「2.長期保管について」を参照してください。



3.フットボードの取付け

ベッドの取扱説明書を参照して、フットボードを元通りに取付けてください。

7 故障かな?と思ったら

■故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。

■チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにハンドルの使用を中止し、販売店またはパラテクノコールセンター（1ページ参照）まで修理をご依頼ください。

状態（症状）	チェック	処置	参照ページ
ハンドルグリップを回しても、ベッドが動作しない（ベッドからジーと音が鳴る場合があります）	ハンドルグリップの回転速度が遅くありませんか？	ハンドルグリップの回転速度を速くしてください（1秒間に2回転以上）。	9
	しばらくハンドルグリップを回し続けると動作しますか？	アクチュエーターには空走があり、しばらくハンドルグリップを回し続けるとベッドが動き出します。	9
	動作させたい部位が、ベッドの動作範囲外に達していませんか？	ハンドルグリップを逆方向に回転させ、ベッドの動作範囲内に戻して使用してください。	8
ハンドルグリップを回してもベッドが動作しない	ハンドルのコネクターが外れていませんか？	ハンドルのコネクターを差しなおしてください。	15
ハンドル操作が重い	ベッド上の使用者体重が80kg以上ではありませんか？	背ボトム・膝ボトムのあげ動作は、使用者体重が80kgを超えるとハンドル操作が重くなり、困難となります。	9
操作したい部位と異なる部位が動作する	切換スイッチが操作したい部位になっていますか？	切換スイッチを操作したい部位に切換えてください。	8・9

8 仕様

品名		スマートハンドル	
品番		KQ-P70S（QP70S）	
寸法（cm）	収納ケース	8×9×30	
	ハンドル本体	収納時：6×8×20、使用時：18×7×20	
	切換スイッチ	3×4×7	
ケーブル長さ（m）		有効長さ2.3	
製品質量（kg）		1.2	
適合品		楽匠Zシリーズベッド［KQ-7＊＊＊］・KQ-60000シリーズ［KQ-6＊＊＊＊］・KA-7900シリーズベッド［KA-79＊＊］	
回転数（※）	さげ	楽匠Zシリーズ・KA-7900シリーズ	頭：2回転/度、足：2回転/度、高さ（頭側）：10回転/度
		KQ-60000シリーズ	頭：2回転/度、足：2回転/度、高さ：7回転/cm
	あげ	楽匠Zシリーズ・KA-7900シリーズ	頭：3回転/度、足：3回転/度
		KQ-60000シリーズ	頭：3回転/度、足：2回転/度

※）1秒間に2回転でフルストローク動作させた場合の平均。（使用者体重60kgの場合）
下記使用条件により、回転数が変化します。
・使用者体重　・背膝連動動作をする場合、しない場合
・ボトム角度　・マットレスやオプションなどの付帯物の荷重

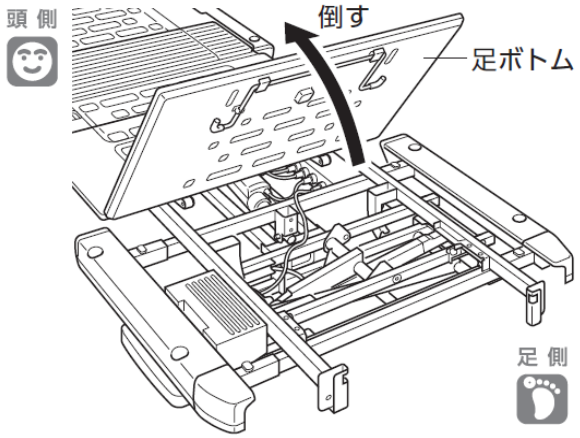
9 収納ケースの取付けかた・取外しかた

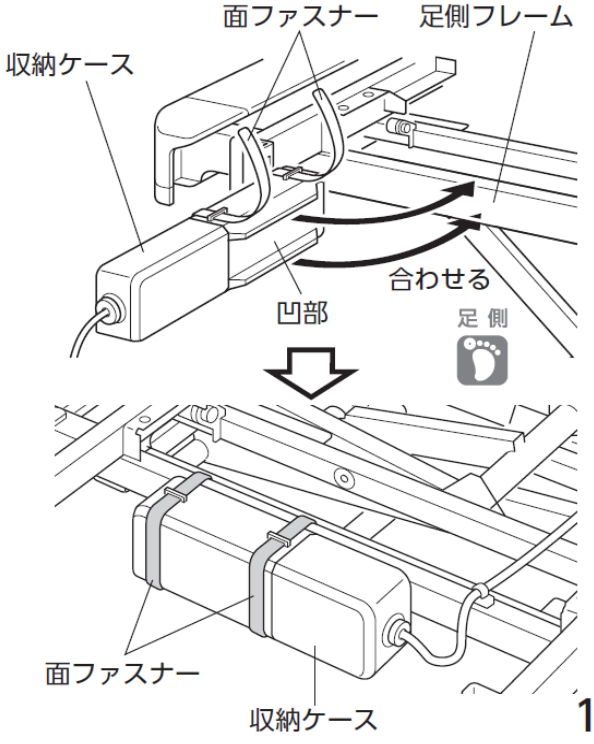
⚠注意（ちゅうい）

- 収納ケースは正しく取付けてください。間違った取付けかたで使用すると収納ケースやハンドルが破損・変形するおそれがあります。
- 収納ケースの取付け後、ベッドの足ボトムやフットボードが収納ケースと接触していないことを確認してください。接触していると収納ケースが外れて落下し、ゆかを傷つけたり、収納ケースおよびハンドルが破損・変形したりするおそれがあります。
- KA-7900シリーズは、収納ケースをベッドのフレームに取付けないでください。収納ケース・ハンドルが破損・変形するおそれがあります。

1.収納ケースの取付けかた

※イラストは楽匠Zシリーズです。





注記！ KA-7900シリーズは、収納ケースをベッドのフレームに取付けることができません。ハンドルを使用されるときに15ページ「6・7・8」の方法で、ハンドルをコントロールボックスに取付けてください。

1 ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 ベッドの取扱説明書を参照して、ベッドのフットボードを取外してください。

3 **■楽匠Zシリーズ**

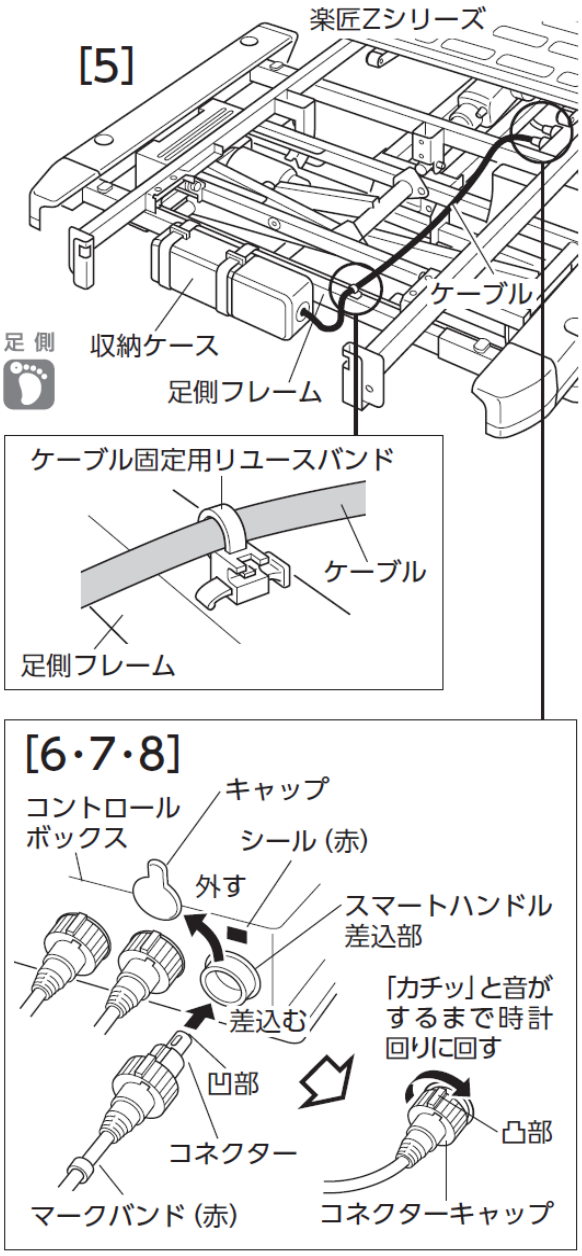
ベッドの足ボトムを持ちあげ、頭側に倒してください。

■KQ-60000シリーズ

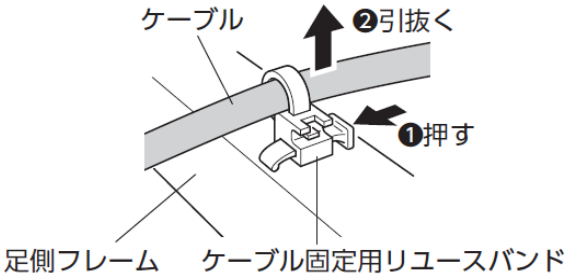
ベッドの取扱説明書を参照して、膝・足ボトムを取外してください。

4 収納ケース凹部を足側フレームに合わせ、面ファスナーで収納ケースをしっかりと固定してください。

注記！ 面ファスナーは面と面がずれないように、全面をしっかりと貼り合わせてください。



2.収納ケースの取外しかた



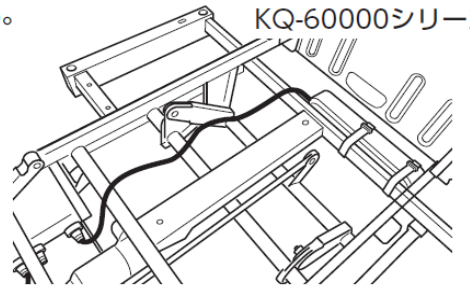
5 ■楽匠Zシリーズ

ケーブルを左図のように配線し、ケーブルに付いているケーブル固定用リユースバンドをベッドの足側フレームの穴に固定してください。

■KQ-60000シリーズ

ケーブルを下図のように配線してください。

KQ-60000シリーズ



6 ベッドのコントロールボックスのスマートハンドル差込部（赤色）のキャップを取外してください。

注記

取外したキャップは紛失しないように、収納ケースに入れて保管してください。

7 ハンドルのコネクターを、ベッドのコントロールボックスの差込部（赤色）に差込んでください。

8 コネクターキャップを「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。

9 14ページ「3」と逆の手順でベッドの足ボトムまたは膝・足ボトムを、元の状態に戻してください。

10 ベッドの取扱説明書を参照して、フットボードを元通りに取付けてください。

収納ケースの取外しは、取付けと逆の手順で行ってください。
ケーブル固定用リユースバンドは、左図の要領で足側フレームから外してください。

注記

収納ケースの取付けかたの「6」で外したキャップは、コントロールボックスの保護のために、必ず元通りに取付けてください。